

成長のために学び続ける ～宮井光博さん～

「ちいきちゃんおはよう。毎日お疲れさま……」というあいさつのあとに続く、励まし、アドバイスの言葉。宮井光博さんは、同じ福幸塾じゅくせいである「ちいきちゃん」こと藤原千秋さんを励ます LINE グループ『ちいきちゃんを助ける会』にメッセージを送ることを日課としています。

もともと税理士事務所で働くちいきちゃんのお仕事相談から始まったこの LINE グループは、今年 8 月の税理士試験合格を目指すちいきちゃんへの応援＆悩み相談となっています。もちろん、宮井さんだけでなく、そこには、ちいきちゃんを応援する多くのじゅくせいたちもメッセージを入れます。そのなかでも、圧倒的に多いのが宮井さんのメッセージ。そして、そこにつづられている言葉は、いつも思いやり満載の宮井さんの人柄があふれています。

◆自分の成長を求めて

宮井さんが福幸塾に出会ったのは、今から 4 年前。福幸塾が、京都亀岡から大阪高槻へとちょうど移ろうとしているところです。すでにじゅくせいとなり、地元枚方でのテニスサークル仲間でもあった森山勝さんから「面白い塾があるけど、一度来てみないか」と誘われたことがきっかけでした。

塾へ参加する初日、じゅくちょうが宮井さんと森山さんを車で香里園駅まで迎えに来てくれました。塾へ向かう車中で塾の活動内容や、じゅくちょうの想いを聞きます。「若い人たちと経験のある大人をつなげたい」

じゅくちょうからこの言葉を聞き、宮井さんは大いに共感します。このとき宮井さんは 43 歳。そして、会社のなかでも担当部署のリーダーとなるタイミングでもありました。会社内で自分の立場が変わったこと、年齢的な視点からこれからの人生を考えてみたとき、会社とはまた違う角度からの学びが必要ではないか、変化に対応する成長が必要ではないかと思っていた矢先での福幸塾との出会い。

実際に、体験セッションで年齢も職業もまったく違う人たちと接し、その感覚が確信に変わります。会社にいただけでは出会うことがない人たちとの話や、触れ合いが、どれほど大切なことかを宮井さんは実感。

「だから、体験セッションを受けてすぐ塾に入ることを決めました」

今年の 6 月で 5 年目を迎える福幸塾歴。

「塾で出会う人たち、そして学んでいることが、間違いなく自分にとってプラスになっています」という宮井さん。もちろん、プラスとなっているのは、学びをインプットだけにとどめているのではなく積極的に実践しているから。

毎朝の LINE 投稿も、「継続するための方法」という学びで知った「習慣づけ」の実践。ほかにも学んだことを、会社のなかでリーダーという立場として同僚や部下との関係のなかで、いかにチーム力を高めていくかといったことを実践、トライ＆エラーを繰り返す。うまくいくこともあれば、そうでないときもある。しかし、その繰り返しこそがまた新たな気づきを生み、学びが自分のものとなっていくことを感じていきます。

「塾はこれからも続けていきます」

キッパリと即答する宮井さん。学びと実践を繰り返して、その感触を得たからこそ、これからも福幸塾で学び続けていくことに迷いがないことが伝わってきます。

◆学びを実践し、周りの人にも還元していく

高校時代は、駅伝の選手だった宮井さん。

タスキをつなぎ、チームがひとつとなって目標に進んでいくことに、いつも心を震わせていました。だから、会社でも塾でも、一生懸命がんばる人に、声かけし、寄り添い、支え、少しでも共感しあえる瞬間を大切にすることを信条としています。それが、ちいきちゃんの LINE グループにつづられる言葉として、見事に映し出されています。

必要なはずずっと成長し続けること。塾に参加してからその思いを強める宮井さん。周りも変わりだします。「今までの延長にある進化ではダメ。これからは、今までと違う発想で臨むこと」と、勤める会社の方針がさらに大きな変化を求めるようになりました。宮井さんは、すでに 4 年前にそれを感じ、今までと違う場での学びが必要と感じ、そして実践を繰り返してきました。

これからも宮井さんは、得た学びを実践としてシェアし、それに励まされる人々はこれからも増え続けていくでしょう。

